

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 東九州自動車道 <small>さいき かまえ</small> 佐伯～蒲江	事業区分 高速自動車国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局			
起終点 自：大分県佐伯市大字上岡 <small>さいきし おおあざかみおか</small> 至：大分県佐伯市蒲江大字森崎浦 <small>さいきし かまえ おおあざもりさきうら</small>	延長 20.4km				
事業概要 東九州自動車道佐伯～蒲江は、九州東部の広域的な連携を図り、物流の効率化及び地域の活性化を支援し、国道10号や国道388号等の災害時における代替路線としての機能を有することを目的とした事業である。					
H10年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H18年度用地着手	H18年度工事着手		
全体事業費	約776億円	事業進捗率	84%	供用済延長	0.0km
計画交通量	7,700～8,900台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 69/869億円	総便益 1,421/1,421億円	基準年 平成26年	
	1.6 (残事業)	事業費：9.8/809億円 維持管理費：59/59億円	走行時間短縮便益：1207/1207億円 走行経費減少便益：117/117億円 交通事故減少便益：98/98億円		
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.5～1.8（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.6～1.6（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.6～1.6（事業期間±20%）					
事業の効果等 ①広域交通ネットワークの形成 ・沿線各都市間の所要時間短縮により、九州東部の地域経済の活性化及び高速定時性の確保 ②産業振興の支援 ・高速道路と工業団地のアクセス性向上による企業誘致の支援 ③観光振興の支援 ・観光地までの移動が円滑になり、来訪者の利便性が向上（観光客数の増加、教育旅行件数の増加） ④医療施設までのアクセス改善 ・第二次救急医療施設（西田病院）への救急搬送の支援及び救急搬送時間短縮による救命率の向上 ⑤災害時の移動経路確保 ・防災点検要対策箇所を回避する代替路の確保 ⑥生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO ₂ , NO ₂ , SPM削減）					
関係する地方公共団体等の意見 大分県をはじめとする4県1市で構成される①東九州自動車道建設促進協議会（会長：大分県知事）や佐伯市をはじめとする2市で構成される②大分・宮崎県境地域開発促進協議会（会長：延岡市長）等により早期整備の要望を受けている。（①平成26年10月、②平成26年11月）					
県の意見 当区間については、昨年暮れに1年前倒した本年度開通の公表をいただき、お礼を申し上げます。 このことから、東九州自動車道の「北九州～大分～宮崎間」は、本年度に概ね全線開通することとなり、待望の九州を循環する高速道路ネットワークが構築され、産業や観光など、大分はもとより、九州全体の発展に大きな効果を発揮します。とりわけ、南海トラフ巨大地震による津波被害が心配される地域だけに、1日も早い開通が望まれています。 以上から、「対応方針（原案）」案の「継続」について異論なく、本年度の着実な開通とともに、事業の早期完成をお願いします。					

事業評価監視委員会の意見
審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等
沿線地域の人口は減少傾向。沿線地域の一世帯あたりの自動車保有台数は大分県及び九州全体よりも多い。並行路線（国道388号、（主）佐伯蒲江線）の交通量は増加傾向。

事業の進捗状況、残事業の内容等
平成10年度に事業化、用地進捗率100%、事業進捗率84%（平成26年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等
地元や関係機関との協力体制のもと、平成26年度開通に向け順調に工事が進捗している。
平成26年度：全線完成2車線開通予定

施設の構造や工法の変更等

- ・ 法面上部の切り直し 【約1億円増】
- ・ 法面下部における補強対策の追加 【約8億円増】
- ・ 発生土処分 【約4億円増】
- ・ 新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



凡例	
東九州自動車道	開通区間
	事業中区間
高規格幹線道路	開通区間
	事業中区間
	調査中区間



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。